



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社
コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部部長 (氏名) 吉田 邦夫

TEL 046-221-2311

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,831	0.2	404	38.1	981	9.6	789	15.9
2022年3月期第2四半期	2,825	3.4	653	37.4	895	372.4	681	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,447百万円 (68.5%) 2022年3月期第2四半期 859百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	72.72	
2022年3月期第2四半期	62.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	18,229	10,261	54.5
2022年3月期	17,038	8,923	50.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 9,930百万円 2022年3月期 8,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				10.00	10.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	0.3	800	26.5	800	45.4	500	54.4	46.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	10,937,449 株	2022年3月期	10,937,449 株
2023年3月期2Q	80,519 株	2022年3月期	80,419 株
2023年3月期2Q	10,857,009 株	2022年3月期2Q	10,857,322 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され正常化しつつあるものの、急激な円安の進行、原材料価格の高騰、また、欧米各国のインフレ圧力に対する金融引き締めの影響による景気減速リスクなど、依然として先行きは非常に不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような事業を取り巻く環境が大きく変化するなかで、経営基盤の更なる強化や生産性の向上、収益拡大に貢献する製品開発に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,831百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は404百万円（前年同四半期比38.1%減）、為替差益592百万円を営業外収益に計上し、経常利益は981百万円（前年同四半期比9.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は789百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、リピート率の高いサガミオリジナル0.01（ゼロゼロワン）を中心に、ポリウレタン製コンドームが海外売上では継続して伸長し、国内売上では幅広い商品群で新たなロイヤルカスタマーを育成すべく、新商品を9月に上市し、売上拡大を図りました。

この結果、売上高は2,088百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は606百万円（前年同四半期比27.2%減）となりましたが、第2四半期連結会計期間は売上高・営業利益ともに第1四半期連結会計期間を上回りました。

② プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、売上高が販売価格の見直しや付加価値製品の拡充で堅調に推移したものの、原油価格の高止まりや原料メーカーのさまざまなコスト増に伴う原料価格への転嫁に追いつかず、増収減益となりました。

この結果、売上高は632百万円（前年同四半期比10.8%増）、営業損失は0百万円（前年同四半期は営業利益34百万円）となりました。

③ その他

入浴・介護サービス及びその他の事業の売上高は111百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業損失は34百万円（前年同四半期は営業損失39百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産や建物及び構築物並びに機械装置及び運搬具の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,191百万円増加し、18,229百万円となりました。

負債合計は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、7,968百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,338百万円増加し、10,261百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は3.7ポイント増加し、54.5%（前連結会計年度末は50.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）において、外国為替相場の変動により、営業外収益に当社及び在外連結子会社の外貨建資産及び負債を期末為替レートで評価したことにより発生した為替差益を592,656千円計上し、経常利益及び親会社株式に帰属する四半期純利益が大幅に増加しております。

なお、2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月19日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値を据え置くことといたしましたが、為替動向を注視しつつ、今後の業績推移に応じて修正の必要性が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,531,378	1,265,186
受取手形及び売掛金	1,011,323	1,084,332
電子記録債権	884,334	1,003,625
棚卸資産	1,931,057	2,256,053
その他	239,382	140,199
貸倒引当金	△32,201	△25,717
流動資産合計	5,565,276	5,723,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,687,382	4,201,963
減価償却累計額	△1,604,454	△1,684,291
建物及び構築物(純額)	2,082,928	2,517,672
機械装置及び運搬具	11,898,585	13,320,941
減価償却累計額	△4,504,961	△5,203,376
機械装置及び運搬具(純額)	7,393,624	8,117,564
土地	1,056,771	1,077,929
建設仮勘定	140,839	8,643
その他	262,954	282,390
減価償却累計額	△202,199	△211,678
その他(純額)	60,755	70,712
有形固定資産合計	10,734,919	11,792,521
無形固定資産	13,392	12,631
投資その他の資産		
投資有価証券	465,140	450,018
繰延税金資産	159,187	159,129
退職給付に係る資産	7,336	5,216
その他	95,524	88,335
貸倒引当金	△2,215	△1,680
投資その他の資産合計	724,973	701,018
固定資産合計	11,473,285	12,506,171
資産合計	17,038,562	18,229,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	262,037	191,058
電子記録債務	243,081	256,055
短期借入金	5,281,773	5,460,311
未払法人税等	155,359	173,973
前受金	32,483	36,717
賞与引当金	76,926	86,320
その他	329,833	337,984
流動負債合計	6,381,494	6,542,421
固定負債		
長期借入金	1,216,834	905,268
長期預り保証金	3,100	2,000
退職給付に係る負債	90,698	86,179
役員退職慰労引当金	417,157	427,172
資産除去債務	5,390	5,390
その他	837	-
固定負債合計	1,734,017	1,426,010
負債合計	8,115,511	7,968,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	676,518	676,518
利益剰余金	7,998,472	8,679,464
自己株式	△35,879	△35,958
株主資本合計	9,186,547	9,867,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,525	179,502
為替換算調整勘定	△722,379	△116,790
その他の包括利益累計額合計	△529,854	62,712
非支配株主持分	266,357	331,247
純資産合計	8,923,050	10,261,421
負債純資産合計	17,038,562	18,229,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,825,583	2,831,788
売上原価	1,600,352	1,829,027
売上総利益	1,225,230	1,002,760
販売費及び一般管理費	571,607	597,980
営業利益	653,623	404,780
営業外収益		
受取利息	643	1,068
受取配当金	8,256	9,391
為替差益	233,410	592,656
作業くず売却益	4,370	4,385
助成金収入	5,260	4,217
その他	10,212	7,628
営業外収益合計	262,153	619,349
営業外費用		
支払利息	20,148	35,121
持分法による投資損失	41	7,177
その他	0	11
営業外費用合計	20,189	42,310
経常利益	895,587	981,818
特別利益		
固定資産売却益	26	46
特別利益合計	26	46
特別損失		
固定資産除売却損	471	57
特別損失合計	471	57
税金等調整前四半期純利益	895,142	981,807
法人税等	201,413	163,792
四半期純利益	693,728	818,014
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,664	28,451
親会社株主に帰属する四半期純利益	681,064	789,562

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	693,728	818,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,592	△13,022
為替換算調整勘定	160,883	637,979
持分法適用会社に対する持分相当額	1,804	4,049
その他の包括利益合計	165,280	629,005
四半期包括利益	859,009	1,447,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836,745	1,382,129
非支配株主に係る四半期包括利益	22,263	64,890

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。